

實性寺 表千家 茶道

3

月 稽古 令和四年

利休忌にちなみ

○お茶湯

○盆香合

○台飾り

○回り花

○茶力フキ

○薄茶



お茶湯



掛物 力団希



花入 萩



茶力フキ

○掛物

利休像 即中齋「力団希」

応祥絵

○花入

萩 伝来写し||新兵衛作



香合 黄瀬戸 木魚

○香合

黄瀬戸 木魚||春鼎作

○炭斗

油竹 利休好

○釜

阿弥陀堂

炉縁

真塗

○棚

押小路焼 引舟ノ絵

○茶入

利休丸壺写し

○仕服

黒 玉藻焼

○茶碗

桜絵||妙全作

○替

製漆絵 薩摩焼||陶正山作



茶入 利休丸壺写し



棚 四方棚



香合 黄瀬戸 木魚



茶碗 黒 玉藻焼



茶碗替 桜絵



茶碗替 製漆絵 薩摩焼



思われます

【茶力フキ】茶力フキの稽古にて蜜を避けるのは可能と

亭主の仕舞い方

二順目、三順目での作法

三重切りを使つて

【回り花】

仏に供え、人に施し、我也飲む

利休様へ・東日本大震災物故者所靈へお茶湯
天目茶碗のあつかい



蓋置 墨台



菓子器 溜鮓桶



干菓子器 朱四方即中斎判箱

○菓子器

「ひな絵」「春の山」「佐渡路」「草餡餅」

菓子

「桜餅」「曲水の宴」「麦落雁」

菓子

「ひな絵」「春の山」「佐渡路」「草餡餅」

菓子

「桜餅」「曲水の宴」「麦落雁」